

結婚六十年(ダイヤモンド婚)八組に聞きました!

● 思い出に残ったこと
● 長生きの秘けつ

新たにことぶきマスター

去る八月十八日県民会館大ホールにおいて昭和六十三年度ことぶきマスター証書、バッジ交付式並びに実践発表会が行われました。都留市からは二十五名の方に知事よりことぶきマスター証書とバッジが手渡されました。

「ことぶきマスター」とはお年寄りの方々が長い人生経験から培ってきた知識や技能、生活の知恵などを、社会に生かしていただくため、また生活文化伝承とあわせて、お年寄りの多様な生きがいを開発するために、昭和五十六年度からはじめたものです。

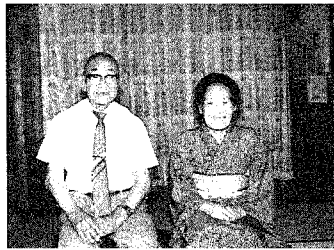
今年度より新たに活躍していただくことぶきマスターは次の方々です。

☆ 生活・伝承部門(敬称略)

- 磯定男(中央二丁目) 小林栄男(つる四丁目) 鈴木忠二(田原三丁目) 奥秋芳春(川棚) 相川あや子、堀口まさ子(十日市場) 城之内きみ子、佐藤忠平(小形山) 武田秀三、宮下時三(中津森) 曾根初恵(大野) 志村あつ子、高部康(小野) 前田邦(与繩)
- ☆ 芸術・芸能・趣味・教養部門
中沢達夫、赤野文男(田原三丁目) 三森要(つる一丁目) 庄司武則(下谷) 亀田茂、勝俣るい子(夏狩) 渡辺初夫(桂町) 関戸富次(境) 平井あり子、島崎進(小形山) 小笠原ふさ(井倉)

園田広・きくよ夫妻(上大幡)

○三十年勤めた三菱鉱山のことが一番思い出に残っている。



○体をよく動かし、よく働けば、何んでもおいしく食べられます。今でも台所仕事は、ほとんど、自分でやります。

近藤世作・紀子夫妻(古川渡)

○長く生きれば良いことばかりではありませんが、生涯を通じて農協の再建に協力できたことが一番心に残ります。



○長い人生の間、お互いに我がままを言い合ってもしょうがない。今後は自分達が丈夫に長生きしていくことが一番です。

志村新一・よしゑ夫妻(古渡)

○苦勞が多くて、別にこれといったことはないが、よく働きよく動くことが一番かな。



○体が弱くてさんざんおじいさんに迷惑をかけたが、とても感謝しています。

中野隆光・たつの夫妻(十日市場)

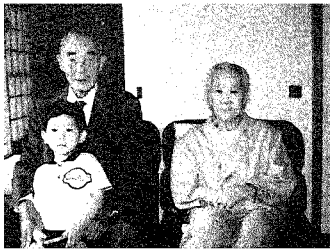
○ケンカは毎日のようにしてきたが、話しても話さなければならぬので、ケンカばかりもしていられない。



○子供の頃飛脚をからかった歌、郵便屋、走らんか、もうかれこれ十二時だ、お上の御用でエッサッサ(明治37年頃)

中村瀬平・ソノ夫妻(田原二丁目)

○何をすることも相手の立場に立って物事を進めることが大事。



○お互いにお互いの意見の相違でケンカもあるけれど、子供達を中心に働くことで、まとまる。

白井 薫・智恵夫妻(中央二丁目)

○満州へ招集された時は神社へ参拝するにも、夜、秘密に行った。その時は家内の顔も見取めかと思っ



○ばあさんは辛抱強くて、自分達の食べ物がないでも頑張った。長い年月、子供達に病氣もさせずに、よく耐えて育ててくれた。

平井 勇・なを夫妻(下谷三丁目)

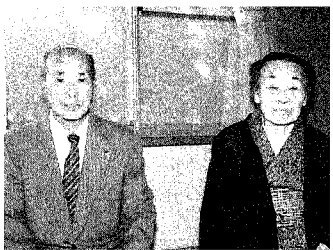
○戦時中も含め、あまり楽しい思い出もなかったが、子育て中に食糧難で随分苦勞しました。



○おばあさんが長く床に寝たのでたいへんだったけれど、二人そろって長生きできて良かった。

滝口軍司・ふみ子夫妻(中央三丁目)

○友禪加工業をしていたが、戦争中は、平和産業は国賊ということで、軍需工場へ変えられた。



○朝食は毎日おばあちゃんが作ってくれる。いつも早寝、早起きをして朝の散歩を日課にしている。そして毎日の晩酌が楽しみでそれも健康のうちだ。